

## 常任理事会だより

### 山川智之

本稿では、前号で報告後、平成 27 年 7 月 24 日、9 月 25 日、10 月 23 日に開催された計 3 回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

#### 1. 次期診療報酬改定についての要望

平成 28 年度の診療報酬改定に向けて、日本透析医会として 10 月 29 日に厚労省保険局医療課を訪問、要望書を提出しました。要望書の内容は下記の通り 6 点と多岐にわたるものになりました。

##### ① 適切な人工腎臓点数の設定

透析医療における診療報酬で薬剤、材料の多くが包括化されていることによる、消費税による実質的な負担増加も踏まえた適切な人工腎臓点数の設定を要望しました。

##### ② 特定入院料算定時における特定保険医療材料の包括からの除外

回復期リハビリテーション病棟入院料および地域包括ケア病棟入院料の算定時に、本来、技術料と一体であるべきダイアライザー等の特定保険医療材料が包括とみなされている現状を踏まえ、現在、中医協で検討されている短期滞在手術入院料算定時の取り扱いも含め、これらの包括からの除外を要望しました。

##### ③ 有床診療所の療養病床での慢性維持透析加算の算定可能化

平成 26 年度改定で、特定除外制度の廃止による透析患者の受け皿確保のため、療養病棟入院基本料 1 に慢性維持透析加算が新設されたが、有床診療所の医療療養病床ではこの加算が算定できない状況にあり、特に地方での通院困難透析患者の受け皿になっている有床診療所における療養病床での慢性維持透析加算を可能になることを要望しました。

##### ④ 人工腎臓の一月の請求回数制限の 16 回までの緩和

前回、前々回に引き続き、人工腎臓一月の請求回数制限を、現行の 14 回から 16 回に緩和することを、特に心不全患者に対する必要性を強調し要望しました。

##### ⑤ 障害加算の見直し

HBV、HCV、HIV などの感染症透析患者に対する障害加算の適応拡大を要望しました。

##### ⑥ 腹膜透析患者への血液透析実施時の施設限定の撤廃

平成 26 年度改定で、腹膜透析管理施設でなければ血液透析の手技料算定が不可になったが、現

状で大きな治療の妨げになっていることを踏まえ、改定以前に戻す事を要望しました。

来年度の診療報酬改定も、財務省が社会保障費の大幅削減を目指していることもあり厳しい改定になることが予想されますが、引き続き各方面に働きかけを行い、透析医療の現場を守っていく所存です。診療報酬改定の情報が得られましたら会員の皆様にはいち早くご報告させて頂く所存です。

## 2. 平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨災害における対応

平成 27 年 9 月 9 日に日本本土に上陸した台風 18 号による影響で関東・東北で豪雨が発生、これにより全国で 85 の河川が決壊するなど大きな被害が発生しました。特に茨城県内では鬼怒川の決壊による被害は大きく、常総市内の広範囲の地域が水没し、この地域の透析施設 3 施設（水海道さくら病院、一色クリニック、常総腎内科クリニック）が稼働不能となりました。茨城県では、日本透析医会茨城県支部の茨城県透析医災害対策連絡協議会および茨城県臨床工学技士会のコーディネートにより、県内約 20 施設で支援透析を行いました。

一色クリニックは 9 月 17 日に、常総腎内科クリニックが 10 月 26 日に、水海道さくら病院は 11 月 5 日にそれぞれ復旧しました。詳細については、次号以降の日本透析医会雑誌でご報告頂く予定になっております。復旧に現場で努力された被災施設の皆様、支援頂いた関係各位に感謝申し上げます。

## 3. 日本透析医会研修セミナーについて

平成 27 年 10 月 4 日（日）、新潟市朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンターにおいて、日本透析医会研修セミナー「透析医療における Current Topics 2015（新潟開催）」を、主題を「透析療法～その過去・今日・未来～」として開催しました。秋の研修セミナーは日本透析医会の活動の周知、地方組織の先生方との交流も期待して地方開催としていますが、227 人と多数の参加をいただきました。誠に感謝申し上げます。

今回は、平成 28 年 5 月 15 日（日）に日本透析医会総会と同時開催で、東京で研修セミナーを開催します。また平成 28 年 11 月 6 日（日）には、広島での開催を予定しております。詳細につきましては、本誌あるいは医会 HP にてご案内させていただきますので、多数のご参加お待ちしております。

## 4. 日本透析医会公募研究助成

日本透析医会は、例年、腎臓病、腎不全医療研究者に対する公募研究助成を行っておりますが、今年は 27 件の申請がありました。たくさんのご申請を頂き誠にありがとうございます。平成 27 年 10 月 23 日に研究助成審査委員会にて厳正な審査を行いました。決定事項については別途ご報告させていただきます。